



ハルナグループ ～ハルナイノベーションセンター～

訪問日：2025年1月24日

ハルナグループは、「飲む感動」「美味しさ」「喜び」「新しさ」を通じ、潤う幸せを世界に届ける飲料プロデュース企業です。新設された「ハルナイノベーションセンター」は、当社商品のイノベーションを加速させ、新たな価値を創造していくための施設です。

1. ハルナグループ概要

(1)所在地

- 群馬本社：高崎市足門町39-3
- 東京本社：東京都中央区日本橋3-8-4-2F

(2)創業 1996年2月

(3)主な事業内容

- 飲料を中心とした企画・製造・販売事業
- プライベートブランドのOEM受託事業

(4)主な自社ブランド商品



(5)従業員数 553名（連結：2024年末時点）

(6)グループ企業

- ハルナビレレッジ株式会社（持株会社）
- ハルナプロデュース株式会社
- 株式会社ハルナウォーター
- HARUNA 株式会社
- HARUNA Asia (Thailand) Co.,Ltd.

2. ハルナイノベーションセンターとは

(1)施設のコンセプト

ハルナイノベーションセンターは、2024年12月に群馬本社の隣接地に建設されたギャラリー／カフェ、商品開発、オフィスの機能が一体となった複合型施設である。消費者ニーズが多様化し、消費トレンドの変化が激しい環境下



同社HP

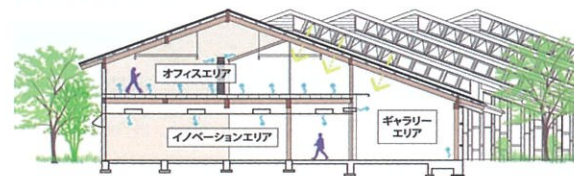
において、社員、顧客、取引先、地域社会とのコミュニケーションの活性化により当社商品のイノベーションを加速させ、新たな価値を創造するための施設である。



ハルナイノベーションセンターの全景

(2)施設の構成

榛名山の山並みを模した切妻屋根が映える木造2階建てで、延べ床面積は1,497㎡。広い開口部から差し込む日光の有効活用、高性能断熱機器の採用など、省エネルギーの機能を高めた施設である。3つのエリアから構成されており、1階にギャラリー／カフェと商品開発のためのエリアが配置され、2階には社員が働くオフィスエリアが配置されている。



施設平面図

3. 施設見学

(1)ギャラリー／カフェエリア

エントランスを抜けると、清涼飲料の製造から販売までの流れを疑似体験できるギャラリー

に繋がる。ここでは、当社製造の各種商品を見ることができ、茶葉やコーヒー豆、果汁、炭酸などを独自にブレンドして清涼飲料水をつくり、好みの形状のペットボトルを選び、オリジナルのラベルを製作して貼るといった一連の作業を体験できる。

カフェスペースは、当グループの社員と取引先との商談の場となるとともに、地域住民や学校等に開放し、地域交流の場として積極的に活用していく方針である。



来場者が試作した世界に一つのオリジナルラベル



静かで落ち着いたカフェスペース

(2)イノベーション（商品開発）エリア



研究開発の様子

商品の研究開発を行うために当グループの頭脳・設備を集めたエリア。従来は自社開発が困難であった飲料や容器形態や食品についても、柔軟かつスピーディに商品開発が進められるようになった。

(3)オフィスエリア

2階には、座席を固定せず好きな席で働く「フリーアドレス」を採用したオフィスエリアがあり、製造、購買、商品開発、財務、人事といった部署の担当者約50人が働いている。部署間の垣根を越えた活発なコミュニケーションによって、新たな「イノベーション」が創出されることが期待されている。



外光を多く採り入れた明るいオフィスエリア

4. 見学を終えて

ハルナグループは、2026年には創業30周年を迎える。このイノベーションセンター設立のコンセプトからは、自社だけではなく、飲料業界、そして地域とともに発展していくという想いが伝わってきた。この施設を中心に、社員と取引先・地域社会とのコミュニケーションが深まることで、グループの人材育成、組織強化に繋がっていくのだろうと感じた。ひいては、当グループが飲料業界の「イノベーション」を牽引していくことを期待したい。

（記事：主任研究員 櫻澤広祥）

ご案内頂きました、財務・経理戦略Unitの尾形様、小澤様、社長室の岩織様、ありがとうございました。